



2019年2月27日

リスクモンスター株式会社

第5回「就職したい企業・業種ランキング」調査 医薬品製造業・医療事業および鉄道業の人气が急上昇！（動画あり）

与信管理ASPクラウドサービスを提供するリスクモンスター株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：藤本太一、以下リスモン）は、第5回「就職したい企業・業種ランキング」調査結果を発表いたしました。

【調査結果】

（1）医療関連の人气が高まる！

「就職したい企業・業種ランキング」のランキング1位は「地方公務員」（回答率 31.6%）でした。次いで「国家公務員」が2位（同 18.0%）、「Google」が3位（同 6.1%）となりました。以下4位「大塚製薬」（同 5.2%）、5位「日本赤十字社」（同 5.0%）、6位「アマゾン」（同 4.3%）、7位「明治」（同 4.1%）、8位「アステラス製薬」、「東日本旅客鉄道（JR 東日本）」（同 3.9%）と続きました。

また、今回「地方公務員」の割合が大幅に増加したことにより「地方公務員」が1位、「国家公務員」が2位となり、前回調査から1位と2位の順位が逆転しました。その他は「大塚製薬」（前回 39位→今回4位）、「日本赤十字社」（前回 70位→今回5位）、「アステラス製薬」（前回 32位→今回8位）、「武田薬品」（前回 18位→今回 11位）の医薬品製造業・医療事業4社と、「東日本旅客鉄道（JR 東日本）」（前回 12位→今回8位）、「西日本旅客鉄道（JR 西日本）」（前回 25位→今回 12位）、「東京急行電鉄（東急）」（前回 48位→今回 16位）の鉄道業3社が順位を上げた一方で、「三菱UFJ銀行」（前回 18位→今回 51位）、「三井住友銀行」（前回 12位→今回 51位）、「みずほ銀行」（前回 14位→今回ランキング対象外）の銀行業3社はそれぞれ順位を大きく下げる結果となりました。（図表A）

業種としては、公務員が1位と2位を独占したほか、医療関連が4社（大塚製薬、日本赤十字社、アステラス製薬、武田薬品）がランクインし、人気の業種となりました。

なお、トップ 100 については図表Bの通りです。

（2）学部により人気業種が明確化

就職先として望む会社を文系・理系別に集計したところ、文系学生が望む就職先のランキング1位は「地方公務員」（回答率 35.9%）でした。次いで2位「国家公務員」（同 15.2%）、3位「Google」（同 7.2%）、4位「東日本旅客鉄道（JR 東日本）」（同 6.3%）、5位「西日本旅客鉄道（JR 西日



本)」(同 5.4%)となりました。前回との比較では「東日本旅客鉄道(JR東日本)」(前回 111 位→今回4位)、「西日本旅客鉄道(JR西日本)」(前回 111 位→今回5位)、「東京急行電鉄(東急)」(前回 111 位→今回6位)と鉄道業3社が順位を上げた一方で、「みずほ銀行」(前回3位→今回 157 位)、「三井住友銀行」(前回4位→今回 25 位)、「三菱UFJ銀行」(前回4位→今回 28 位)と銀行3行が大幅に順位を下げました。

これに対して理系学生が望む就職先のランキング1位は「地方公務員」(回答率 27.2%)となり、次いで2位「国家公務員」(同 20.7%)、3位「大塚製薬」(同 10.1%)、4位「アステラス製薬」(同 7.8%)、5位「日本赤十字社」、「武田薬品」(同 6.9%)となりました。前回との比較では「大塚製薬」(前回 50 位→今回3位)、「アステラス製薬」(前回 52 位→今回4位)、「武田薬品」(前回 50 位→今回5位)と医薬品製造業3社が大幅に順位を上げました。(図表C)

文系学生においては玩具製造業や鉄道業、航空運輸業などの趣味性の強い業種に人気が集まっているのに対して、理系学生においては製薬業や電気機器製造業など、自身が大学等で学んできた知識を活かせる業種への就職を希望している傾向がうかがえます。

(3)「企業へのインターンシップ」で情報収集しつつ、3月頃より活動開始

就職活動に備えた活動としては「企業へのインターンシップへの参加」(回答率 65.0%)が最も多く、「合同企業説明会などイベントへの参加」(同 45.9%)、「業界・企業研究」(同 33.2%)と続きました。前回比較においては「就職活動支援セミナーへの参加」、「合同企業説明会などイベントへの参加」、「業界・企業研究」が減少する一方で、「企業へのインターンシップへの参加」が増加していることから、インターンシップ制度を活用した採用活動が主流になっている様子が表れています。(図表D)

また、就職活動を開始する時期について調査したところ、「2019年4月以降」(回答率 34.3%)が最も多く、次いで「2019年1月～3月」(同 24.5%)が2位となり、今年度の就職活動の開始時期である3月頃から就職活動を開始する学生が多く見られました。(図表E)

最後に就職先を選定する際の意味決定手段について質問したところ、「親の意見を参考にしながら、自分の意思で決める」(回答率 40.5%)が1位となり、次いで「自分の意向のみで決める」(同 34.3%)が2位、「友人・知人の意見を参考にしながら、自分の意思で決める」(同 18.4%)が3位となりました。(図表F)

【総評】

今年も3月1日に、2020年3月卒の学生の就職活動が本格的にスタートします。

政府(厚生労働省)の発表では2019年1月の有効求人倍率は1.61倍と、過去2番目に高い水準となりました。近年の景気回復と人手不足により、採用拡大の動きが続き「売り手市場」とも言われている就職活動において、学生達がどのような思考のもとで就職活動を行っているのかを調査したのが「就職したい企業・業種ランキング」アンケートです。

●リスモングループ NEW インフォメーション●

本アンケートの結果によれば、安定職の代名詞とも言える「公務員」に加えて「医薬品製造業・医療事業」や「鉄道業」に人気が集まる結果となりました。特に鉄道業においては、文系の学生を中心に人気を集めました。また、理系の学生からは「自らが学業で得た専門性や知識、経験を商品開発等で活かせる職場」として、「飲食料品会社」や「製薬会社」が高い人気を得ている様子もうかがえました。

近年の日本経済は東京オリンピックや大阪万博を控えて戦後最長の景気拡大が続くなど、順調に推移しています。しかし長期的には少子高齢化によって労働人口（生産年齢人口）が減少していることで、労働力不足に伴う経済の停滞懸念が高まっています。今回のランキングにおいて、公務員の回答率（49.6%）が前回調査（10.8%）よりも大幅に上昇している点を考慮すると、学生が将来の日本経済の停滞を見越して「安定」志向を強めていると見ることもできるでしょう。

2018年10月に経団連は2021年春以降の新卒者を対象に就職活動の開始時期を自由とする「就職活動ルールの廃止」を決定しました。これによって企業が早期に優秀な学生を確保するために就職活動開始時期の前倒しや就職活動期間の長期化が生じることが予想されています。

それに対して今回学生に「理想の就職活動の時期」についてアンケート調査を行ったところ、「大学3年生後期に開始」し、「大学4年生前期に内定を得たい」と考えている学生が最も多い結果となり、学生と企業との間には就職活動の時期、期間において意識の相違が存在していることが明らかとなりました。（図表G）

大学在学中はできるだけ学業に専念し、卒業近くになってから集中的に就職活動に取り組みたいと考える学生の考え方は理解できる一方、早い時期から就職活動に取り組み、社会活動に目を向けることは、十分な時間を掛けて自らに適した仕事を選ぶことができる、という考え方にも一理あるともいえます。

選んだ就職先に長きにわたって勤め続けることができれば、それは学生と企業のそれぞれにとって、望ましいことです。企業としては昨今盛んに行われているインターンシップ制度などを活用しながら、学生の本分である学業に支障が生じない範囲で自社の仕事の魅力を伝えつつ、優秀な学生の確保を図っていく姿勢が求められるでしょう。

試行錯誤を繰り返しながら、自らが生涯にわたって勤めるべき企業を見つけていく、学生達のこれからの健闘に期待しています。

※ 本編はダイジェスト版です。詳細な内容は、以下掲載サイトよりご覧いただけます。

<http://www.riskmonster.co.jp/rm-research/>

RISMON GROUP NEW INFORMATION

RISMON-G ●リスモングループ NEW インフォメーション●

■リスモン調べ動画

今回発表の調査結果について、「就職したい企業・業種ランキング」動画を作成しました。

2人のコメンテーターの掛け合いによる解説をお楽しみいただけます。

掲載サイトよりご覧ください！ <https://youtu.be/he8NGRNRPSY>



[実施概要]

- ・調査名称 : 第5回「就職したい企業・業種ランキング」調査
- ・調査方法 : インターネット調査
- ・調査エリア : 全国
- ・期間 : 2019年1月25日(金)～1月30日(水)
- ・調査対象者 : 2020年3月卒業予定の大学3年生男女個人
- ・調査対象企業と選定方法 : 各業界の大手企業・組織 200社を抽出
- ・有効回収数 : 440サンプル

■リスモン調べとは

リスモンが独自に調査するレポートのことです。これまでリスモンでは企業活動関連の調査として他にも「100年後も生き残ると思う日本企業調査」「環境への配慮が感じられる企業調査」や「この企業に勤める人と結婚したいアンケート調査」などを発表しており、今後も「企業活動」に関するさまざまな切り口の調査を実施することで、企業格付の更新に役立てていくとともに、情報発信を行うことで新しい調査ターゲットの創出、新サービスの開発などに取り組んでいます。

掲載サイトはこちら <http://www.riskmonster.co.jp/rm-research/>

■リスモンの概要(東京証券取引所第二部上場 証券コード:3768)

2000年9月設立。同年12月よりインターネットを活用した与信管理業務のアウトソーシングサービス、ASPサービス事業を開始しました。以来、法人会員向けビジネスを要にサービス分野を拡大し、各事業部門・子会社(与信管理サービス、ビジネスポータルサイト(グループウェアサービス等)およびBPOサービス)ごとに取り扱うサービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

リスモングループ法人会員数は、2018年12月末時点で12,015(内、与信管理サービス等6,100、ビジネスポータルサイト等3,123、その他2,792)となっております。

ホームページ:<http://www.riskmonster.co.jp/>

<本件に関するお問合せ先>

リスクモンスター株式会社 カスタマーセンター 広報担当
〒103-0027 東京都中央区日本橋2-16-5 RMGビル
TEL:03-6214-0354 e-mail:press@riskmonster.co.jp

RISMON GROUP NEW INFORMATION

RISMON-G ●リスモングループ NEW インフォメーション●

図表A 第5回「就職したい企業・業種ランキング」アンケート / ランキングベスト 20

(n=440/複数回答)

今回順位	前回順位	変動	就職先	都道府県	業種	回答率
1	2	↑(+1)	地方公務員	-	公務	31.6%
2	1	↓(▲1)	国家公務員	-	公務	18.0%
3	6	↑(+3)	Google	東京都	インターネット付随サービス業	6.1%
4	39	↑(+35)	大塚製薬	東京都	医薬品製造業	5.2%
5	70	↑(+65)	日本赤十字社	東京都	医療事業	5.0%
6	48	↑(+42)	アマゾン	東京都	無店舗小売業	4.3%
7	6	↓(▲1)	明治	東京都	食料品製造業	4.1%
8	32	↑(+24)	アステラス製薬	東京都	医薬品製造業	3.9%
8	12	↑(+4)	東日本旅客鉄道(JR東日本)	東京都	鉄道業	3.9%
10	18	↑(+8)	パナソニック	大阪府	電気機器製造業	3.6%
11	18	↑(+7)	武田薬品	東京都	医薬品製造業	3.4%
12	32	↑(+20)	グリコ	大阪府	食料品製造業	3.2%
12	48	↑(+36)	カネボウ化粧品	東京都	化粧品製造業	3.2%
12	25	↑(+13)	西日本旅客鉄道(JR西日本)	大阪府	鉄道業	3.2%
12	4	↓(▲8)	全日本空輸(ANA)	東京都	航空運輸業	3.2%
16	57	↑(+41)	日本郵便	東京都	郵便・物流事業	3.0%
16	6	↓(▲10)	ソニー	東京都	電気機器製造業	3.0%
16	14	↓(▲2)	任天堂	京都府	玩具製造業	3.0%
16	48	↑(+32)	東京急行電鉄(東急)	東京都	鉄道業	3.0%
16	39	↑(+23)	ソニー・ミュージックエンタテインメント	東京都	コンテンツ事業	3.0%
16	84	↑(+68)	オリエンタルランド	千葉県	テーマパーク事業	3.0%

RISMON GROUP NEW INFORMATION

RISMON-G ●リスモングループ NEW インフォメーション●

図表B 第5回「就職したい企業・業種ランキング」アンケート / ランキングベスト100

(n=440 / 複数回答)

順位	企業名	回答率	順位	企業名	回答率
1	地方公務員	31.6%	51	ゴールドマンサックス	1.6%
2	国家公務員	18.0%	51	アディダス	1.6%
3	Google	6.1%	51	カルビー	1.6%
4	大塚製薬	5.2%	51	コーセー	1.6%
5	日本赤十字社	5.0%	51	三菱重工	1.6%
6	アマゾン	4.3%	51	サンリオ	1.6%
7	明治	4.1%	51	日本放送協会(NHK)	1.6%
8	アステラス製薬	3.9%	51	TBS	1.6%
8	東日本旅客鉄道(JR東日本)	3.9%	51	NTTデータ	1.6%
10	パナソニック	3.6%	51	三菱UFJ銀行	1.6%
11	武田薬品	3.4%	51	三井住友銀行	1.6%
12	グリコ	3.2%	51	博報堂	1.6%
12	カネボウ化粧品	3.2%	51	近畿日本ツーリスト	1.6%
12	西日本旅客鉄道(JR西日本)	3.2%	51	全国農業協同組合連合会(JA全農)	1.6%
12	全日本空輸(ANA)	3.2%	65	三菱化学	1.4%
16	日本郵便	3.0%	65	オリンパス	1.4%
16	ソニー	3.0%	65	シャープ	1.4%
16	任天堂	3.0%	65	ヤマハ	1.4%
16	東京急行電鉄(東急)	3.0%	65	NTTドコモ	1.4%
16	ソニー・ミュージックエンタテインメント	3.0%	65	フジテレビジョン	1.4%
16	オリエンタルランド	3.0%	65	ベネッセコーポレーション	1.4%
22	森永乳業	2.7%	65	三菱UFJ信託銀行	1.4%
22	楽天	2.7%	65	エイチ・アイ・エス(HIS)	1.4%
22	資生堂	2.7%	65	ユーキャン	1.4%
25	味の素	2.5%	75	大成建設	1.1%
25	キューピー	2.5%	75	カゴメ	1.1%
25	富士フイルム	2.5%	75	日本電気(NEC)	1.1%
25	富士通	2.5%	75	本田技研工業(ホンダ)	1.1%
25	日本テレビ	2.5%	75	テレビ朝日	1.1%
25	イオン	2.5%	75	キーエンス	1.1%
25	セコム	2.5%	75	スクウェア・エニックス(スクエニ)	1.1%
32	日清食品	2.3%	75	日本ハム	1.1%
32	キャノン	2.3%	75	野村證券	1.1%
32	トヨタ自動車	2.3%	75	日本生命	1.1%
32	集英社	2.3%	75	電通	1.1%
32	日本航空(JAL)	2.3%	75	サイバーエージェント	1.1%
32	ジェイティービー(JTB)	2.3%	75	帝国ホテル	1.1%
38	山崎製パン	2.0%	88	積水ハウス	0.9%
38	サントリー	2.0%	88	竹中工務店	0.9%
38	旭化成	2.0%	88	伊藤園	0.9%
38	日立製作所	2.0%	88	アサヒビール	0.9%
38	講談社	2.0%	88	TOTO	0.9%
38	アップル(Apple)	2.0%	88	川崎重工業	0.9%
44	LINE	1.8%	88	IHI	0.9%
44	清水建設	1.8%	88	タニタ	0.9%
44	ヤクルト	1.8%	88	バンダイ(BANDAI)	0.9%
44	花王	1.8%	88	ヤフー	0.9%
44	東宝	1.8%	88	三菱商事	0.9%
44	東海旅客鉄道(JR東海)	1.8%	88	三井物産	0.9%
44	エイベックス(Avex)	1.8%	88	伊藤忠商事	0.9%

RISMON GROUP NEW INFORMATION

RISMON-G ●リスモングループ NEW インフォメーション●

図表C 第5回「就職したい企業・業種ランキング」アンケート / 文理別ランキング

(n=440/複数回答)

文系			理系		
順位	就職先	回答率	順位	就職先	回答率
1	地方公務員	35.9%	1	地方公務員	27.2%
2	国家公務員	15.2%	2	国家公務員	20.7%
3	Google	7.2%	3	大塚製薬	10.1%
4	東日本旅客鉄道(JR東日本)	6.3%	4	アステラス製薬	7.8%
5	西日本旅客鉄道(JR西日本)	5.4%	5	日本赤十字社	6.9%
6	東京急行電鉄(東急)	4.9%	5	武田薬品	6.9%
7	アマゾン	4.5%	7	パナソニック	6.0%
7	楽天	4.5%	8	明治	5.5%
7	集英社	4.5%	8	カネボウ化粧品	5.5%
7	全日本空輸(ANA)	4.5%	10	Google	5.1%
11	日本郵便	4.0%	11	キューピー	4.6%
11	講談社	4.0%	11	富士フイルム	4.6%
11	ソニー・ミュージックエンタテインメント	4.0%	13	アマゾン	4.1%
14	日本テレビ	3.6%	13	グリコ	4.1%
14	ジェイティービー(JTB)	3.6%	13	資生堂	4.1%
16	日本赤十字社	3.1%	13	味の素	4.1%
16	東宝	3.1%	13	富士通	4.1%
16	近畿日本ツーリスト	3.1%	18	ソニー	3.7%
16	セコム	3.1%	18	森永乳業	3.7%
20	明治	2.7%	18	キヤノン	3.7%
20	任天堂	2.7%	18	トヨタ自動車	3.7%
20	サンリオ	2.7%	18	サントリー	3.7%
20	日本航空(JAL)	2.7%	18	旭化成	3.7%
20	イオン	2.7%	18	日立製作所	3.7%
20	三井住友銀行	2.7%	※背景色有りは、文理で共通している企業		
20	博報堂	2.7%			
20	オリエンタルランド	2.7%			

図表D 第5回「就職したい企業・業種ランキング」アンケート / 就職活動に備えての活動状況

(n=440/複数回答)

順位		全体	前回	文系	理系	男性	女性
1	企業へのインターンシップへの参加	65.0%	63.0%	61.0%	69.1%	66.8%	63.6%
2	合同企業説明会などイベントへの参加	45.9%	49.4%	48.4%	43.3%	46.8%	45.2%
3	業界・企業研究	33.2%	36.4%	35.4%	30.9%	34.2%	32.4%
4	就職活動支援セミナーへの参加	32.3%	33.6%	32.3%	32.3%	30.0%	34.0%
5	OB/OG訪問	22.7%	21.6%	17.0%	28.6%	25.8%	20.4%
6	アルバイト	18.0%	17.4%	20.6%	15.2%	17.4%	18.4%

※背景色有りは、上位3項目

図表E 第5回「就職したい企業・業種ランキング」アンケート / 就職活動開始時期

(n=440/単一回答)

No.		全体	関東・関西	その他	文系	理系	男性	女性
1	2018年3月以前	12.5%	12.9%	12.1%	12.6%	12.4%	13.7%	11.6%
2	2018年4月～6月	7.3%	10.4%	3.5%	9.9%	4.6%	5.8%	8.4%
3	2018年7月～9月	8.4%	7.9%	9.0%	9.4%	7.4%	6.8%	9.6%
4	2018年10月～12月	13.0%	14.5%	11.1%	17.9%	7.8%	16.8%	10.0%
5	2019年1月～3月	24.5%	22.0%	27.6%	26.9%	22.1%	24.2%	24.8%
6	2019年4月以降	34.3%	32.4%	36.7%	23.3%	45.6%	32.6%	35.6%

※背景色有りは、上位2項目

※地域は、現在の居住地での集計。

図表F 第5回「就職したい企業・業種ランキング」アンケート / 就職先選定における意思決定手段

(n=440 / 単一回答)

順位		全体	文系	理系	男性	女性
1	親の意見を参考にしながら、自分の意思で決める	40.5%	43.5%	37.3%	36.3%	43.6%
2	自分の意向のみで決める	34.3%	33.6%	35.0%	38.4%	31.2%
3	友人・知人の意見を参考にしながら、自分の意思で決める	18.4%	16.1%	20.7%	18.4%	18.4%
4	親の意見を最重要視して決める	3.4%	4.0%	2.8%	2.6%	4.0%
5	友人・知人の意見を最重要視して決める	3.4%	2.7%	4.1%	4.2%	2.8%

※背景色有りは、上位2項目

図表G 第5回「就職したい企業・業種ランキング」アンケート / 理想の就職活動開始希望時期・内定希望時期

(n=440 / 単一回答)

開始希望時期	回答率
大学1年生・2年生	10.4%
大学3年生前期	25.0%
大学3年生後期	43.0%
大学4年生前期	16.8%
大学4年生後期	4.8%

※背景色有りは、最上位項目

(n=440 / 単一回答)

内定希望時期	回答率
大学1年生・2年生	0.9%
大学3年生前期	1.1%
大学3年生後期	6.1%
大学4年生前期	71.4%
大学4年生後期	20.5%

※背景色有りは、最上位項目